【地方創生先行型の交付金を活用して実施している事業のKPI（重要業績評価指標）】

	事業名	事業の概要（目的）	交付金を充当する経費内容	交付対象事業に要する費用（千円）	KPI（重要業績評価指標）	実績	
						H27年度（4月～7月末）	H25年度・H26年度
1	企業誘致育成推進事業	企業誘致及び育成に必要な奨励措置（事業所の拡充・新規雇用の創出に対する奨励金の交付）を講ずることにより、産業の振興と雇用の増大を図る。	企業の投資に対し奨励金を交付 ・事業所設置奨励金（投下固定資産総額の5%） ・雇用促進奨励金（新規雇用者×５０万または２０万） ※要件による	8,625	①事業所設置奨励金の対象となった投下固定資産総額：2億6千万円 ②雇用促進奨励金の対象となった新規雇用者数：10人	①②ともに申請受付期間中	＜H26年度＞ ① 2,247,865,191円　② 0人 ＜H25年度＞ ① 0円　② 3人
2	観光推進事業	市外から観光客を呼び込むことのできる観光イベント（まつり）を開催し、地域経済の活性化を図る。また、交流人口の増加を図り、将来の移住の礎とする。	観光イベント（まつり）の開催経費 ・丸山公園花まつり（歌手出演料・便所設置及び汲取料・警備委託料等） ・田川市最大のまつり「風治八幡宮川渡り神幸祭」に観光客を呼び込むために開催する「まつりIN田川」（実行委員会への負担金） ・福岡県指定無形民俗文化財「春日神社岩戸神楽」に観光客を呼び込むために開催する「後藤寺商店街芸能市民の広場」（商店街振興組合への補助金）	1,913	観光客数： ①丸山公園花まつり 11,000人 ②風治八幡宮川渡り神幸祭 170,000人 ③春日神社岩戸神楽 15,000人	① 集計中 ② 220,000人 ③ 15,200人	＜H26年度＞ ① 11,000人 ② 210,000人 ③ 15,200人 ＜H25年度＞ ① 11,000人 ② 140,000人 ③ 15,200人
3	トライアルワーキングステイ事業	首都圏をはじめとする都市に住む移住検討者等に、田川市内で働きながら一定期間居住し田川市の魅力・住みよさ等を体験してもらい、その情報を広く発信してもらうことで、その体験者の移住と全国から多くの定住者を呼び込むことに結びつける。	福岡県と県内８市町で「ふくおかトライアルワーキングステイ実行委員会」を結成し、実施 ・実行委員会負担金（体験者募集経費や借り上げ住居の家賃・修繕等に充当） ・体験者の生活に必要な経費（レンタカー、生活家電、家具等）	563	お試し移住体験者数：2人	体験者募集中 （H27.8月中旬まで）	H27年度新規事業
4	移住・定住住まい助成（宅地分譲）事業	安価で良好な住環境を備えた住宅地を供給することにより、移住・定住化の促進と住宅建築に伴う地域経済の活性化等を図るため、宅地として利用が可能で分譲に至っていない市有地の販売を促進する。	○市有地購入者に対する助成（※個人に対する給付） ・市有地購入奨励金（住宅新築目的の市有地購入に土地取得額の10%を交付） ・市内業者利用奨励金（「市有地購入奨励金」該当者が、市内業者により住宅を新築した場合、50万円を交付） ○市有地の販売促進・広告費（新聞チラシ等） ・現地案内所設置 ・現地整美費用（草刈等）	10,306	①未分譲宅地の販売区画数：5区画 ②市有地購入奨励金交付件数：5件 ③市内業者利用奨励金交付件数：10件	① 8件 ② 10件 ③ 3件 ※①について、H27.4.1時点での残区画：22区画	＜H26年度＞ ① 52件 ② 52件 ③ 14件 ＜H25年度＞ ① 35件 ② 39件 ③ 8件
5	住宅リフォーム助成事業	現に居住している住宅に対しリフォーム（バリアフリー化、省エネ化、耐久性能向上、耐震化等）を実施した場合に、その費用の一部を助成することにより、快適な住環境を確保するとともに、その後の定住を図る。	市民が自ら所有し居住している住宅に対し、リフォーム工事（10万円以上）を市内業者により行った場合に助成（当該工事費の10%に相当する額（上限10万円）） ※個人に対する給付	2,598	住宅リフォーム実施件数 ：50件	11件	＜H26年度＞　36件 ＜H25年度＞　56件
6	出産祝金支給事業	子育てしやすい環境づくりを推進し出生数の増加を目指すにあたり、出産・子育て時にかかる経費負担の軽減を図るため、出産祝金を支給する。	出産祝金の支給 ・第1子：50千円 ・第2子：100千円 ・第3子：200千円 ・第4子：300千円 ・第5子以降：400千円　※個人に対する給付	27,184	母子手帳交付数：445冊	150冊	＜H26年度＞　478冊 ＜H25年度＞　483冊
7	不妊治療費助成事業	出産したいにも関わらず不妊に悩む方に対し、特定不妊治療の費用の一部を助成することで経済的負担を軽減し、不妊治療の利用増加を図る。	不妊治療（体外受精または顕微授精）を受けた場合に「福岡県不妊に悩む方への特定治療支援事業（上限15万円／回）」に上乗せして助成金を交付 ・上限5万円/回 ※個人に対する給付	752	①助成件数：25件 ②不妊治療を受け妊娠した人数：1人	① 15件 ② 2件	＜H26年度＞ ① 6件　② 3件 ＜H25年度＞ H26.10月事業開始
8	バス路線維持充実対策事業	市内各地区と市中心部及び医療機関等との移動手段を確保するため、民営バス路線の運行補助と市独自のコミュニティバス運行を実施する。	・西鉄バス「金田・方城線」3系統の運行補助を糸田町・福智町と共同で実施 ・バス会社、タクシー会社、警察、商店街振興組合、福岡県、田川市等が参画し、田川市コミュニティバスを運行する「田川市地域公共交通会議」に対し、バス運行経費を負担	11,348	①民営バス（特急・急行を除く） ・運行路線：3系統 ・乗客数：116,000人 ②田川市コミュニティバス ・運行路線：6系統 ・乗客数：59,000人	①運行路線：3系統 乗客数　：19,313人 （H27.4～5月） ②運行路線：6系統 乗客数　：15,688人 ※①乗客数は定期・エコルカード等利用者を除く推計値	＜H26年度＞ ①運行路線：3系統 乗客数　：117,526人 ②運行路線：6系統 乗客数　：62,190人 ＜H25年度＞ ①運行路線：3系統 乗客数　：121,541人 ②運行路線：6系統 乗客数　：57,831人